

鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

令和6年度 学校報 No.32 文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校 令和6年 12月 6日



今年の学びは今年のうちに CRTと秋田県学習状況調査を実施



12月4日(水)、鳥海小学校は全校で今年度の学びの定着状況を確認するCRT(1～3年生:国語と算数)と秋田県学習状況調査(4～6年:国語、算数、理科と質問紙調査。高学年は社会も)を行いました。4年生は午前中いっぱい、高学年は5時間目まで、集中力を振り絞って取り組みました。難しい問題があっても自分なりに答えを見いだして記述している姿があちらこちらで見られました。

結果は、2月のPTAの学級懇談の際に個人票で配付する予定です。



1年生の様子



2年生の様子



3年生の様子



4年生の様子



5年生の様子



6年生の様子

3年生のクラブ見学 自分たちで楽しさ見つけます

12月2日(月)のクラブは、3年生がクラブ見学を行いました。年度初めに4年生以上に希望を取り、今年度はボールゲームなどのいろいろな運動を楽しむスポーツクラブ、オセロや将棋、ボードゲームを楽しむテーブルゲームクラブ、プラ板やマスコットなど作品を作って楽しむ手芸クラブ、プログラミングやパソコンを使った発表などに挑戦するパソコンクラブの4つのクラブがあります。3年生は、縦割り班とは別の異学年交流の様子を見て、4年生からの活動に期待を膨らませていたようでした。



ボードゲームクラブにて

ふれあい会食 5年生

鳥海のおじいちゃん おばあちゃんは 温かいよ

11月29日(金)に鳥海社会福祉協議会主催の「ふれあい会食」が紫水館で行われ、そこに5年生が参加しました。お昼ご飯を一緒に食べて会話を楽しむことはもちろんですが、鳥海地域の高齢者の方々と、一緒に鳥海音頭を踊ったり、ビンゴゲームをしたり、学びの成果として枕草子の暗唱、合奏や合唱を披露しました。

高齢者の方からは「ここ最近で一番心があたたかくなった」「元気をもらった」というお褒めの言葉をいただきました。子どもたちは、「最初はどんなことを話せばよいか分からなくてきん張したけれど、高れい者の方が話しかけてくれて緊張ほぐれた。次、地いきで会ったら自分から話しかけたい。」「発表のとき、少し失敗してしまったけれど『次うまくなればいい』とはげましてくれたので鳥海の人やさしさを感じた」「ふれあい会食で面白かったのは2つあります。一つ目は鳥海音頭です。なぜかという、老人たちと踊るのが楽しかったからです。二つ目はビンゴゲームです。」などと振り返っていました。地域の方との交流を通じて鳥海の温かさを感じる機会になりました。



ビンゴゲームの結果は？



届け！リコーダーの音色



お話も弾んでできました・・・

九九練習から感じたこと 自分で数を数える経験について

11月下旬頃から、2年生の子どもたちが休み時間に校長室に来てくれます。子どもたちの目的は「九九マスター」です。使い慣れてしまえばスラスラ唱えられるはずの九九ですが、身に付くまではとにかく努力あるのみ。「イチ、ニ、サン、シ、ゴ、ロク、シチ、ハチ、ク、ジュウ」と1年生で数の唱え方を学習します。でも「24=ニジュウヨン」「49=ヨンジュウキュウ」「72=ナナジュウニ」と言うことが生活では少なくありません。そのためか、九九の唱えで「4=シ」「7=シチ」で言い方を悩んでいた、音で覚えているからなのか「イチ、ハチ、シチ、シ」が混ざって悩んでいた、と子どもたちにとっての壁が見えてきました。また、普段、20より大きい数を数える経験が少ないためか、5飛の数え方「5, 10, 15, 20, 25, 30・・・」や10飛の数え方「10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90・・・」で数が増えていく感覚に自信なさそうです。入浴時に「浴槽につかる時間は100数える」と親として言い（親から言われ）、省略技として「10, 20, 30・・・」などと数えた思い出はありませんか。2年生の子どもたちもこれをきっかけに、数を数える経験が広がるといいなと期待します。



現在、2年生は九九マスターカードがクシャクシャでセロテープで補強しなければならぬほど何度も挑戦しがんばっているの、で、「上がり九九」はゴールが見えてきました。この後、「下がり九九」「とび九九」を合格して完了になります。がんばれ2年生!!さて、3年生以上のみんなの九九は大丈夫でしょうか。